

# あるべじお

第 4 号

平成元年11月1日  
関西大学ギタークラブ  
OB会・発行

## 役員・幹事16名参加

### 『OB会幹事会』開催!!

去る7月20日(日)、西区の区民会館にて、役員改正後初の幹事会が、第9期の竹本議長の下、開催されました。当日の議題と討議内容について概略を報告致します。

#### 一、新組織について

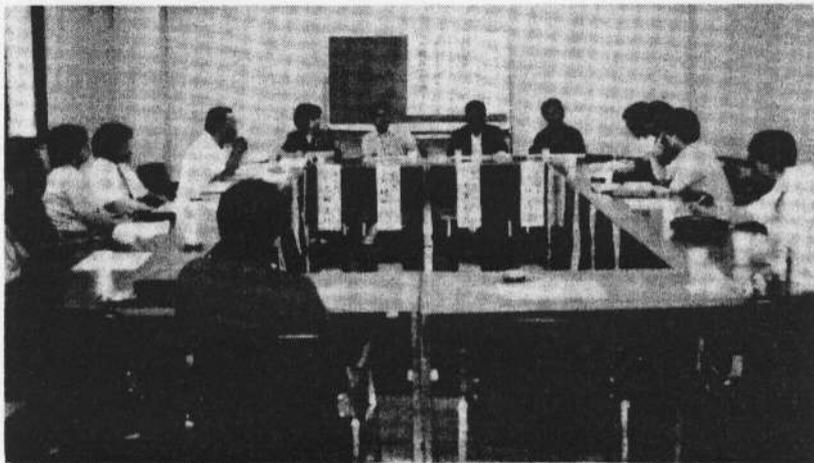
昨年11月に改正された新組織の責務内容等について事務局長より説明がありました。新組織は、当所設けられた学生幹事のまとめ役として4年毎に選出した「節幹事」を廃止し、事務局がその分を取り行い、OB会運営全般を執行するという内容のものです。新組織についてはOB会名簿の2ページ又は「あるべじお」第3号をご覧ください。

#### 二、会則による「目的」の再検討について

OB会の目的は会員の親睦と現役への後援としていますが、各々について検討されました。●親睦 現在は年一回の機関紙、一年に一回のOB会総会が実施されていますが、更にリクリエーション、ゴルフコンペが提案され、実施の運びとなります(下段参照)。

#### ●後援 精神的な後援は当然の事ですが、今回は金銭的な後援を中心に討議されました。

現状は定演の祝儀と花代として35,000円のみですが、他に独重奏への祝儀、楽器や備品の援助等が検討されました。



#### 三、OB会コンサートについて

年々、声が増えてきているコンサートについて、必要性和可能性について討議しました。結果、「可能ならやってみよう」と言う段階に至りましたので、実現に向けて行動する事となりました(下段参照)。

#### 四、財政の問題

現在の主な支出は、機関紙・名簿の印刷代及び郵送費、定演の祝儀等ですが、会員の増加により、経費も増加し、かなり厳しい状況にあり、唯一の収入源である「会費」の問題に集中しました。値上げの意見も出しましたが、当面は回収率の向上を目指す事と致しました。

#### ご家族全員でご参加下さい!

#### 現役との

#### 合同ハイキング



気の合った仲間、全く知らない人、老いも若きも一同に、楽しい一日を過ごしませんか。〈先行〉 芦屋ロックガーデン

阪急芦屋川駅より高座の滝・風吹岩を経由奥池へと向います。幼児以上ご家族向け。  
●日時/平成元年11月19日(日)  
阪急芦屋川駅北口、朝9時30分集合  
(阪急梅田より特急13分↓西宮北口  
普通6分↓芦屋川駅)

●持参品/弁当・水筒・レジャーシートなど  
●服装/スポン・運動靴など軽装で。ただ、着後の為にジャンパーのご用意も。  
〈注意〉事前に参加者名・数の確認等が困難な為、集合時間より約30分経過後出発致しますので余裕を持ってお出掛け下さい。

●万一、雨天の場合は、「須磨水族館」へ  
山陽電鉄月見山駅南側へ朝10時集合  
(天候は前日夜迄の判断と致します。)

●お問い合わせ  
第9期 竹本真一  
第26期 榎井貴路  
現役部長上古代英武

### 「OB会」メンバー「」参加者募集!!

今回の幹事会で決定した通り「OB会」メンバーを左記の通り開催します。名称の縁起が悪いのはご容赦下さい。

- 期日/12月17日(日) (17時スタート)
- 場所/東条湖カントリークラブ
- 人員/3組(12名)
- 申込方法/電話で受付(先着順)

●お申し込み・お問い合わせ先  
第8期 松本卓二  
第10期 篠田年晴

### 「OB会」コンサート 実行委員会 会員募集!!

内容・形式・会場・練習方法など懸案事項が多々あります。早期実現に向けて具体的に推進します。われと思わん方はハガキにてお申し込み下さい。会期等については後程ご連絡致します。お申し込み・お問い合わせは次の通り。  
第9期 高本健児

### 会費払い込みのお願い

同封の「払込み用紙」に期名・氏名を記入のうえ、郵便局にて払い込み下さい。OB会では、予算の都合上、現役への後援等で行動が制約されます。なにこそご理解の程お願い致します。尚、定演当日もOB会受付にて承っております。



1988年2月 戸隠スキー場にて

いつまでも青春してきたい人の  
「関大ギター部  
OBスキーツアー」



第20期 田中 忍

昭和60年2月に、19期と20期の2期のみで五竜とおみスキー場に行ったのが始まりの、「関大ギター部OBスキーツアー」ですが、今年で5年目を迎えました。毎年、参加学年が増加し、今年2月に戸隠スキー場に行った時には、19期から23期に渡る5学年が集まりました。人数も多い時には他のスキーサークルも含め、男女合せて20人を越える事もあります。行先は、主に信州や北陸の穴場ゲレンデで、列年はスキーバスを利用していましたが、今年2月の戸隠のツアーでは全員車に分乗して行きました。去年の長野自動車道開通により、大阪から白馬方面のスキー場までの所要時間が6〜7時間ぐらいに短縮されましたので、定時に仕事を終れば、夜中の0時〜1時ぐらいに宿に到着できます。

### 鉄は熱いうちに

第7期 清水 健之

早いもので卒業してから二十年。千里山キヤンパスでギタークラブ部員として過ごした4年間がとても懐かしく感じられます。あんなに一生懸命練習していたギターも最近はずばり…。あの頃毎月張り替えていた弦も最近では3年に一度替えればいい方。別に熱が冷めてしまったわけではないけれど、ケースに入れたまま何週間も何ヶ月も放置し、たまに思い出したように昔の楽譜を引っ張り出してバツハのメヌエットやガボットを弾く(いや秘密に言うとなんか弾くともがいてるだけなのだが)。そぼで聞いていた小四の長男が、「あつ、その曲知ってる。僕も音楽教室で習

「スキーの楽しさは、参加人数に比例する」という法則どおり、年々参加者が増えることに中身の充実した楽しいツアーが行なえるようになってきました。昼間はもちろんスキーをしていますが、夜は宴会で、昔の思い出話や、下ネタ話に花が咲いています。これからも、もっと参加学年を増やし、将来は家族の方や、友人も含めた大規模なツアーにして行きたいと思っています。とても気楽なツアーですので、初心者の方ぜひどんでん参加して下さい。

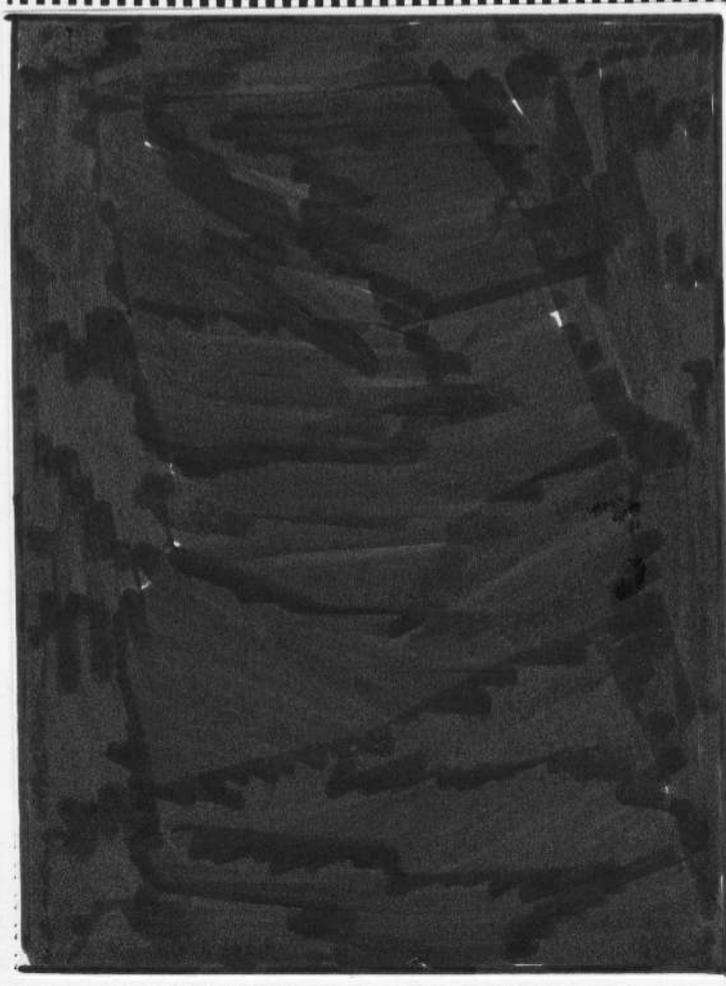
### 新OB(第26期)は13名!

今年度卒業生は13名、OBの総数は453名になりました。幹事は元部長の榎井貴路氏。新OBの名簿を同封しておりますので、お手持ちのOB会名簿ファイルに閉じて保管して下さい。今後共、よろしくお願い致します。



ったことあるよ。」といつてピアノで弾いて見せる。息子は幼稚園のときから音楽教室に通いもう7年。親の欲目で見ても教室の中では決して上手なほうとは言えない。何とか落ちこぼれずについていつてる状態で、そんな息子でもバツハのメヌエットぐらいならスラスラと間違いないメリハリのある演奏をして見せる。「こりゃとてもかなわんな。」とあつさの脱帽してしまった。思えば大学時代、毎

日毎日何時間も練習したギター…。延べ練習時間だけなら息子に決して負けはしない。しかし子供の自然で無理のない演奏を聞いてみると、幼時にその礎石を築いておくことの重なり性をひしひしと感ぜさせられる。音楽に限らず、何事においても同じことだと思つ。小学校時代をアメリカで過ごした帰国生徒を私の勤務する高校でも受け入れているが、私自身何十年も英語を勉強してきたはずなのに英会話ではその生徒に全く歯が立たない。吸い取り紙のように何でも吸収できる若い時期に適切なアドバイスを与え、秘めたる可能性を最大限に引き伸ばせる様にやりたいたいと切に願っております…。なんて父兄会の締めくくりに言葉みたいになつてしまいました。後輩諸君、頑張ってください!





### 村田君の結婚パーティー!

第22期 小川 透

卒部以来4年半。先輩諸氏や後輩の朗報をちらほらと耳にする中、縁遠かった我が22期にも「こにきて」婚姻あい整った仲間が一人一人……。去る9月17日。元指揮者の村田氏の御成婚の儀挙行されまして後の二次会。同期の人間が遠方のものを除いてほぼ全員揃った事でもあり、氏の二次会パーティーの報告と併せて22期の健在なところを紹介致します。

所は神戸二宮、新郎忠彦君は、演奏会以外では初めて見る正装、新婦圭子さんは胸にワイン色のコサージュをあしらったドレスで登場。その姿は、さしずめ「美女と……」。



新郎新婦の友人織り混ぜて40人ほどの人間が集まったのですが、会場設定のミスで

（犯人は私です）場内は騒然とした様子で、さながらギター部BOXで会食しているような雰囲気の中、会は滞りながら進行していったのです。

にやつてきた新郎新婦に危ない発言（新郎にこいつは……）と実に健在なところを披露。さて会の方は終盤を向かえ、新郎新婦も加えてのゲームではきつちりKISSも披露してくれました（やつぱり、これがないと……）。そして終宴。新郎新婦の挨拶。「よい夫婦だといわれるように……」という、新郎のついでに聞いた事のない神妙な言葉に、友人たちから感動の拍手、拍手。祝福の声と紙吹雪舞う中、新郎新婦は新生活へとその第一歩を歩み始めたのです。

最後にになりましたが、御二人の未来が美しく輝きますように。ごつが御幸せに。」

以上  
同期一同

### 機関紙に寄せて

第6期 西尾 保宏

「光陰矢の如し」とは至言である。——  
クラブ機関紙創刊号にこの書き出しで始める雑文を寄せた頃から、早いもので、もう二十二年にもなる。いや四分の一世紀と表現した方が正確なのかも知れない。内容についてはほとんど忘れてしまったが、入部の動機や抱負なんかであったようだ。

平成元年九月十六日、上田新平氏より原稿の要請があった。多忙を理由に断るつもりが、昨日は田の命日であったにもかかわらず墓参りを延期したことで、多少の後ろめたさが断る気迫を萎えさせた。生返事をしてしまつてから、罰が当たつたんだと自分に言い聞かせた。意志の弱さは、学生の頃と少しも変わっていない。

さて、何を書こうかと思ひ悩むが、一向に浮かばない。上田氏は「夏の思い出」でもよいといったが、それでは、小三の「男の作文



### 時は流れて

第20期 鈴木まゆみ(旧姓・猪熊)

「白い館」がなくなつてゐる。(あの大盛りピラフ、まずかつたのになア)  
「シヤモノ」はあるワノ。(あの年次会は、クラカッた)

3年間の干葉での生活を終え、住み慣れた街へ帰つてきた私達。ついピラフと魔がさして、数年振りに足を踏み入れた関西大学。ゲームセンターの乱立に目を見張り、すれ違ふ若い衆に明らかに年代の差を感じつつ、なつかしの道を辿つてみた。

場違いな程、立派な図書館を尻目に、せまに負けてしまい、お父さんの権威に傷がつくではないか。子供にバカにされるのは、お父さんのヘナチヨコギター」だけで充分だ。OB会でのイエペス先輩(二期の岩井氏のこと。失礼。)の演奏を聴いて、復活を目指してはみたものの、元々の下手、上達する訳がない。

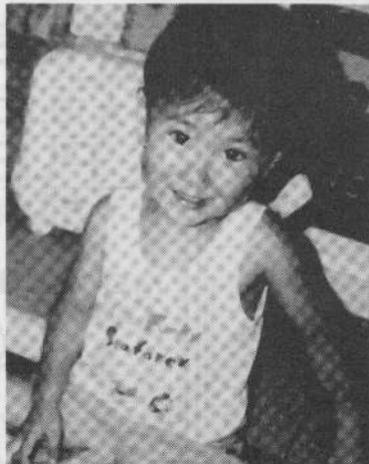
それでもよい。子供たちがギターに親しみを持つてくれればよいと思つている。これが私のギターに対するスタンスである。

先頃、ワナー・パイオニアから「セコピア・コレクシオン」全十六集が出た。既に発売済みのものを含めると、かつて、米・デッカ(MCA)に神様セコピアがLP録音した名演奏のほとんどをCDで聴けることになつた。今、この内の一枚(第十集)を聴き始める。そうすると、一曲、一曲に記憶が蘇る。

創刊号を思い出したのも、ミランのパバーナのせいかも知れない。それにしても、クラブ機関紙第二号はどうなつたのだろうか。

くなつたブランドを見おろし、しみじみと感慨にふける。

「もう、10年前だもんなんア」  
げつと思つけれど眞実なのだから仕方がない。次々と差し出されるニュースやお菓子に「なんていいクラブなんだろう」と感動しつつ入部したのも10年前。幹部を遂行し、数少ない例外にはいることを許されず、5年間の大学生活を余儀なくさせられたヒトと、「練習拒絶症」の私が、このながーい一生と一緒に歩くことになろうとは……。アリと格闘しているパパ生きうつしの息子を傍らにしみじみと思つ。面白いもんですナ。



「誠之館」についてみる。

怖いものみださに登つていく階段、ああこの、おどろおどろしさだけは少しも変わらない。幸いにも、扉は閉ざされていたが、

「〇〇さんが座つていそうだわ。」  
「あの正面の席には必ず〇〇がいた。」  
などと勝手なことを、ひとしきり話し合い、又、足音しのばせ、階段を降りていった。

「定演に行つてみたいなア……。」  
なんて、この模範的怠慢部員だった私に思わせる程、歳月は流れ、そしてギター部の想い出というものは、それ程執念深いものだったのである。





# 近況報告

第20期 稲谷 祐子

ギター部OBの皆様、お元気で過ごして  
しょうか。私達は今年の四月に転居し、五月  
十一日に長女「萌」が誕生と、暮しが大きく  
変わりました。御想像通り、同じポーズの写  
真がアルバムを埋め、レノマのクッションの  
横にカッパちゃん縫いぐるみが座っている  
生活です。卒業してから約六年間、ちよつと  
(? )ハードな会社に勤めていたので、朝に一日  
振りまわされていますが、マイペースで暮ら  
せるのが嬉しい今日この頃です。

主人(19期OB)も、相変わらずお酒とタバコを愛しながら元気で頑張っています。仕

## 入部の思い出

第14期 安宅 恒夫

「大学では、きつと音楽関係のクラブに入るぞ。」と高校生の頃から思っていました。

高校時代の私は、当時ブームであったフルートこそ持っていました。所属していたクラブと言えば剣道部です。剣道は高校から始めたのですが、練習のかいあって、三年生の春には一段になることができました。しかし、フルートは部屋の片すみで、ほこりをかぶったままでした。

昭和四十八年春、関大の門を初めて学生としてくぐった時、道の両側で盛んにヒラを配つたり、叫んだり、にぎやかなクラブの勧誘合戦には、本当に驚かされました。授業の合間、グラウンドで日向ぼっこでもしている、何人もの人達から、強引な勧誘を受け困ったものでした。

そして五月に入ったある日、クラブの吹き

事の都合で英語学校に通っていますが、最近  
はレッスンのあとの方が楽しみのようで、彼  
は飲める相手なら国籍を問いません。

父親業も四月目に入りましたが、生命保  
険の額を増やし、童謡をギターで奏で、写真  
の撮り過ぎだと文句を言う  
割に、萌と一緒に写りたがる、やっぱり親バカです。

では、新米ママの方はど  
うかと言いますと昨年まで  
の経理の仕事から、今年は  
肉体労働に変わり、抱っこ  
のお陰でサロンパスの欲し  
い毎日です。大阪のチベッ  
トと呼ばれる態勢に籠もり



この辺の道路なら運転できるかも知れないと、  
教習所に通います。態勢に遊びにこられる方  
若葉マークのシルビアを見かけたら気をつけ  
て下さい。

四年間のクラブ生活で、たくさんの方々と  
出逢いながら、卒業後は限  
られた人としかなかなか逢  
えませんが、皆さん、又こ  
の「あるべじお」にどのど  
ん登場して近況をお知らせ  
下さい。とは言いながら、  
たった二枚の原稿用紙を埋  
めるのが、苦しかったです  
ぞ。OB会費を滞納した罰  
かなア。ごめんなさい。

溜まりと言つべき誠之館へ、足を踏み入れた  
のです。誠之館の中は、雑多な楽器の音で、  
騒々しい程でした。たくさん部屋の前には  
各クラブの名札が立っており、どのクラブか  
ら説明を聞こうかと迷っていると、「新入生  
の方ですか。」と声をかけられ、引っぱって行  
かれたのがギター部だったので。

狭い部屋に一步入ると、コの字型に座って  
いた人たちの視線が、いつせいに、こちらに  
向けられたのが分かりました。それから、  
お定まりの、年令や住所などの身上調査です。  
そして出身校の話になると、「こいつ、大阪  
の市岡高校や。」と声が上がりました。「や  
った」とばかり立ち上つたのが、当時四回生  
の森繁弘先輩(第十一期)でした。

「僕も市岡の出身や。高校の時は何がクラ  
ブしてた。え、剣道部。僕もや。ギター部で  
も、フルート吹けるし、入部したいな。」と、熱  
心に口説かれました。それでも、まだ入部を  
決めかねている私を、森先輩たちは生協の喫



君が入部してくれたら、本当に嬉しい。」と言  
う森先輩を見ているうちに、「居、こち良さ  
そうなクラブや  
な。」と思つた  
のが運のつき、  
それから卒業ま  
で居続けること  
になつてしま  
いました。それは  
本当に、楽しい  
日々でした。

そんな私も、今年三十四才。父田の郷里の  
徳島県庁で働く毎日です。今だに、ギターや  
フルートとは縁が切れず、リコーダーまで始  
める始末です。こうして、まだ音楽と付合え  
るのは、ギター部のおかげです。皆様の御活  
躍をお祈りします。

### 〈広告募集!〉

あなたの会社、お店などのP  
Rに広告欄をご利用下さい。  
サイズ・料金は次の通りです。  
(約500部発行します。)

- 1段全面.....8,000円
- 1段1/2.....5,000円  
(右・グラナダさんのサイズです。)
- 1段1/4.....3,000円

\*その他、ご相談承ります。  
詳細は編集委員会まで

「グラナダコンサートのお知らせ」  
●大阪ニューギター三重奏団  
昨年ギターコンクール(大阪)3位、山陰ギ  
ターコンクール1位の松岡滋を中心とする  
若いギタリスト達の創るユニークなスパー  
ジをご期待下さい。  
(90.1月25日(日) 府立文化情報センター)

### ●ギター音楽の店

スペイン風 居酒屋 **グラナダ** 日宝東阪急  
レジャービル 4F  
〒530 大阪市北区神山町8-14(日宝東阪急レジャービル4F)  
☎(06)314-1267

毎週土曜日 クラシック ミニコンサート  
7:30~9:00 フラメンコ

11/18 井本 尚子(C)	12/9 山田 直樹(C)
11/25 岡本 誠(C)	12/16 田頭 雅法(CF)
12/2 横永 秀美(C)	12/23 小林 郁夫(F)

月・火・水・全 ギター弾き語り クラシックギター クラシックギター  
なかの かつき 木・金 松岡 滋 日 猪居 信之

貸切レンタルスナック **モンパトル** ●宴会・パーティーなどどうぞ!  
民芸酒庵 恋路 団体貸切専用

# むねむねの想い、懐しのGuitar

第8期 藤田 米三

久しぶりに晴れた秋の日、クラブの思い出に浸っています。

一番先に思い出されるのは一年生のときの立山・雷鳥沢での合宿です。室堂よりギターと荷物を手手に下げ小一時間沢を歩いた山小屋での合宿でした。それまであまり練習をしていなかったで指が動かなくなったり、朝から晩までの練習で指先が痛くなったり、初めての独奏発表で上気したことなどいろいろありましたが、卒業して18年も経ちますとそのようなことも楽しかったことの方が多く思い出されます。刻々と変わる山の天気、赤紫、黄金色等いろいろな色に変わる雲、暗闇の中から聞こえてくるすてきなギターの調べ、雷鳥を求めての沢歩き。合宿最後の夜のコンパ、また、いままであまり知らなかった先輩、同期の人との交流等々。

この合宿を経てやつとクラブにとけ込めた気がしました。特に私の学部は天六に在り練習時のみ千里山のキャンパスに行くという状態でありましたため、2年の杣池、3年の野尻湖、4年の志賀高原以上に感じただけでしょう。この時のゼミのチーフに須知先輩(5期)があられました。縁とは不思議なもので社会に出てから同業(医薬品メーカー)という点もあり、たびたび先輩と出先でお会いすることがあり、いろいろと御指導いただきましたが、今でも前に出ると先輩後輩として緊張しているのがよく判ります。

さて楽しい、また厳しい合宿の後の定期演奏会。皆でひとつのことをする喜び、やりあげたという満足感、これが私を4年間クラブに引きつけた理由でした。でもギターは少し

も上手になりませんでした。

今では昔ギタークラブに席を置いていたと大きな声で言えませんが、なぜかと言えば、そのように言えれば決まっつて一度弾いて見せろと言われるに決まっつていからで、間違っつて弾こうものなら皆が批評に苦しむのがよく判るからです。

でも本当にいいクラブに席を置けたことを嬉しく思っつています。たくさんの人と知り合いになれたことに感謝しています。



関西大学天六学舎

## 第26回「定期合同演奏会」開催

「コーエン」……久しぶりに聞く言葉ですネ、まだあるの？なんて言っつて古いOBもいますが、あるんですヨ！学生運動の激しかった昭和44年だけ中止になっつたのですが、以来休まず今年で26回目、6月27日(火)豊中アクアホールにて開催されました。関西学生ギター連盟も関大・関学 阪大・市大・神戸女学院・関西外大と六大学の大世界となり意気盛んな活動を行っつております。

今年の六校間大合奏は関大の三野さんがタクトを握っつて活躍、昨年関大の定演では聴けなかつた「油と空」も、この合演では関大・



今年より登場、連盟のシンボルマーク (市大・辻井さんのデザイン)

関学・神女シヨイント  
ラテンアンサンブルで  
健在ノレキントの溝上  
さん他皆さんでくろう  
さま!!

現役 SPOT

がんばってます!!

# 関西大学ギタークラブ

## 〈現役近況報告〉



最近、昔の様に一つのサークルに入り4年間続けていく傾向が少なくなっつてきています。我が関大ギター部もその例にもれず、マンモス大学であり乍ら部員数は減少の一途をたどっつている状況です。

現在部員総数は41名。四回生が8名、二回生10名、一回生6名、一回生が17名です。それだけに本当に志ざしている人も多く、情熱・意欲は昔以上とも言えます。目下、定演目指して猛練習中ノ27回目の定演です。ぜひぜひ飲みに行かすに応援に来て下さいネ!

## 西?さんはフラメンコがお好き!?

これは不思議!?ギタークラブ最近6年間の話。フラメンコを志さず人は27期(現四回生)の濱田さんを除けば全員が西?さんなのでそのです。まず26期が西島さん、26期が西山さん、28期西口さん、29期が西原さん、そして現一回生の30期が、これまた西田さんなんです。皆さんご存知の通り、「スペイン」は日本語では「西国」ですネ。西国はもちろんギターの国、フラメンコとは限りませんが、何と言っつても郷土色豊かなフラメンコは西国の象徴。これは只の偶然なのでしょか。もし、来年の新生が西本、西川、或いは西村だつたら……あなたはどうか考える?乞つて期待!!

## 平成元年度 主な年間行事

- 2月5日 4回生さよならコンサート(関大誠之館内19.20会議室)
- 4回生追い出しコンパ(梅田・ニューミュンヘン北大使館)
- 3月3日~5日 強化練習
- 3月7日~14日 春期合宿(八子高原 パークホテル 白樺館)
- 4月9日 立命館大学との交歓演奏会(立命館大学以学館1号)
- 4月15日 新入生歓迎演奏会(関大・特別講堂)
- 4月28日~29日 新入生歓迎オリエンテーション(羽衣青少年センター)
- 5月20日 第22回独重奏演奏会(吹田市文化会館メシアター中ホール)
- 6月27日 関西学生ギター連盟第26回定期合同演奏会(豊中アクアホール)
- 7月1日 前期総会
- 9月7日~9日 強化練習
- 9月11日~19日 夏期合宿(信州野尻湖 野田屋ホテル)
- 10月21日~22日 第1次強化合宿(信貴山・柿本屋)
- 11月2日~3日 第2次強化合宿(信貴山・柿本屋)
- 11月11日(土) 第27回定期演奏会  
(吹田市文化会館メシアター 6:00PM開演)
- 11月末 後期総会



## OB会よりのお願い!

同期の方同志連絡を取り合っつて、又、ご家族・友人など誘っつてより多くの方の参加を!

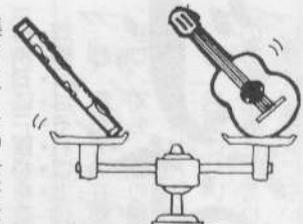


第25回定期演奏会

# フルート狂騒曲

第9期 中島 新一(旧姓・鹿野)

それはある秋の夜の事でした。竹本君と高本君のコンサートに行き、眩しく、光り輝く時を過ごした私はなぜかすつかり自信を持ち、6期の上田新平さんに「フルートって誰でも吹けますか？」と聞いたのでした。答は「誰でも。」だったので、新平さんにお願いでフルートを手に入れました。その時の「やった事は？」「全然。」の会話が妙に心に残ったのでした。そしてわかつたのです。音が出ない事が、冷静になつてみれば今まで私のさわつた楽器は、音色はともかく一応音は出るものばかりでした。すつかり落ちこんでいるところへ高本君からの電話。「フルートやつてるつて？」「何、誰に聞いた？」「新平さんから。」「ど、ど、ど」と問い返す頃、高本君が電話から遠ざかる気配がしました。「オ、オ、オ、幹事で、新平さんの会社で……」「行くなッ」「う、うん、わかつた。で、音出るんかッ」「出ない。」オレも持つてるけどアカン。なんでもっと早く言つてくれなかつたらどう。「じゃもう投げたんかッ」と聞く口ぶりは、まるで私が本当にフルートを投げつけたかのようでした。「誰でも吹けるつて言われて吹けんかつたら立場無いなあ。」と同情とも何と



もつかぬ言葉に私はいたく傷ついたのでした。思えば哲学科の教授の「女の子は勉強できないほうがかわいい。」という言葉を信じてギターばかり弾いてきたのに、去年教授宅に皆で集まり、その一件を持ち出したところ「オレ、そんな事言つたかな？」の一言に愕然とした事もありました。教訓・信じてみても必ずしも救われるとは限らない。今や、ギターの楽譜なら一目で弾けるか否かを見きわめられる程の域に達したのでギターからはしばらく遠ざかっているのに、ギターにもどつた方が賢明かな？自分のフルートをカセットに入れ、自分のギターで伴奏するのだ。そんな日が来る事を夢に見つ……。



# クラブ時代の思い出の一

第11期 森 繁弘

原稿依頼があつて、何か適当な題材はないものかと考え、クラブ時代の思い出をつづつてみようと思ひます。  
 新人だつた1回生の頃、初めての夏合宿(昭和45年、長野県)では、OBの方からのリンゴの差し入れがありました。先輩のお名前は忘れましたが、感謝、夏だというのに、朝夕は非常に涼しかったことを覚えています。夜間の自由練習では、さぼりにさぼつて、先輩に「何んや、今年の1回生はッ」。最後の夜に反省でした。打ち上げコンパでは、セミチーフを風呂に投げ込み、自分もいっしょに全身ぬれネズミ。  
 やがて、定演、春合宿へと。土佐、桂浜合宿所でのカツオ料理シリーズ(汁・焼、さしみ等)にはまいりました。  
 問題点の抽出では何んと言つても、2・3回生時代です。千日前パート火災の時は、同輩青木氏と岩岡先輩宅に宿、その時、初めてパッハオルガン曲を聞いて、感動しました。当時の話題として、後輩水野氏の「大ブソ事件」、山本先輩の「トイレのスケッチ」、小柳先輩の「階段、なにすねんッ事件」、涙のグランドソノ物語、井上同輩の「天満の発射事件」

などなど。クラブ機関紙を賑わした事件です。是非、一読して下さい。

3回生から4回生にかけて、必死にマジヤン覚えしました。もちろんギターの練習も必死でしたが、河口先輩他に授業料たいぶ支払いました。その分、先輩とくに久留嶋、林両氏からはしつかりと。

卒業4年間位は長野在住ということもあり、夏合宿は同期の青木氏とよく行きました。アソコルワットの奇跡ではありませんが、合宿夜の発表会ですなおにアソコルに反応する青木氏の異常な神経は今も忘れません。差し入れ(お酒)持つて行き、4回生と飲んでいたら、4回生とも自己批判で正座!! 正座しながら「われOBやどノなんて正座せなあかんねん!!」あアもう原稿用紙が!  
 この続きはまた数年後に(次回はおつとマジメにギター練習の思い出を中心に、最後にギタークラブ万歳)

# ああ無念…尚志館焼失!!

本年5月19日、あの懐かしい旧部室のあった尚志館が焼けてしまった。  
 懐しいといつても10期くらい迄の高合やOBの話で、当時でもボロの小さな部屋に10人以上の部員数を抱えていた頃もあった。



ブラバン、オケなどの音が鳴り響き、自分のギターが聞こえなかつた事、西村食堂の長イスに座り、20円の鯨カツを食べた事等々、思い出沢山ありがとう！サヨウナラ尚志館!!

# ♥私のギター—恋人歴♥

第1期 青木 朋幸

私はギターが好きである。その理由は、スタイルが女性そのものであるからということにある。又、私は浮気性であることをかくしきれない。

## YAMAHA G50嬢

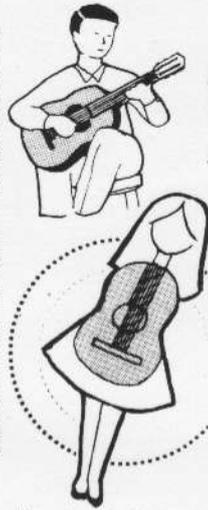
17才(花の高2)では「松葉20号嬢」

20才(関大ギター)では「河野7号嬢」

27才では「ホセ・ラミレス嬢」

30才では「タカミネ嬢」

そして37才の今、「プラトニオ・マリン嬢」か「マヌエル・ベラスケス嬢」かと目を光らせているらしいです。



ギターラ社(東京の自由)へ何回も訪れてあれこれとさんざん品定めをする割には、いつか買わないので、店の主人を辟易させてしまいました。

マリン嬢は明るくて音がよく遠くまで通って響き渡るが、長年弾き込んでその性格が変わらない。一方ベラスケス嬢は、弾き初めはやや重々しい音で艶がないものの、長年の間弾き込むにつれ味のある音が出来上つていく。

今は、マリン嬢は魅力的に写るのですが、3年、5年といった交際を考えるとベラスケス嬢の方が互いに気分を醸成していく魅力がありそうで、大いに迷うのであります。

ギターは恋人であり妻ではない。だから、

ある時惚れたことに意味がある」と屁理屈を立て、「Feeling is good time」で新たな恋人に接近中です。

## いらっしやいませ、〇〇書店です。

第24期 高倉 史朗

さて、本日は秋野君と沖野さんの御婚約、私の某書店での正社員登用の2つを記念しまして、書店を利用する際の心得を書いてみたいと思います。

①、基本的にいつ御来店されても結構ですが、夕方4時から5時までと昼の12時頃は、店員の休憩時で人手が少なくなっています。午前中と2時から3時半までなら、より丁寧に接客いたします。

②、ブックカバー・手提袋・領収書が御入りの時は早目におつしやして下さい。たとえ一冊のお買い上げでも、手提袋はお渡しします。贈答用の包装や宅配も致します。

③、おわかりにならない時は、ためらう事なく近くの係員にお尋ね下さい。担当毎に棚が分れてはいますが、分野別の御案内はできます。その際、少なくとも書名とジャンルを教えてください。目録で検索するなり棚の方に御案内します。

④、買われた本の返品は、本の乱落丁等以外は御容赦下さい。その本とシートを翌日までに、買われた売り場にお持ち下されば、同額又はそれ以上の品と交換可能です。

⑤、電話での在庫取りおきや御注文もできます。でも、売り場の人が少ない時には電話に出れませんので、多少時間が要ります。

⑥、店頭には本は御注文でどうぞ。取引のある出版社であれば2〜3週間御取寄せします。取次がない時には東京の出版社にま

て注文伝票が通りますので2週間から3週間必ず見ていただきます。ただテキスト等で20冊以上の時は1週間で取寄せます。

⑦、そしてこれが一番言いたい。御注文された本を店頭に取りに来られる時、絶対に受付番号だけは控えて来て下さい。売り場も書名も注文日もわからないのでは、かなりの時間を無駄にしてしまいます。店頭での御注文の際にお客様控を必ずお渡ししていますので、絶対にお忘れなきよう。

7項目について書いてみましたが、こういう事を言ってしまうのも、以上の様なことができないお客様が多いという事に他なりません。この訴えを読まれた方は、くれぐれもお忘れなきよう、御来店お待ちしております。(さてこの本屋はどこの本屋か)

## 来年は〇〇会と花博で再会!

一年に一回の〇〇会も今年で四回目。まだ一度も参加していない人、来年こそはぜひお越し下さい。懐かしい面々と昔話に花を咲かせてみませんか。

来年は、もう一つ花を咲かせるイベントがあります。「国際花と緑の博覧会」(通称・花博)です。



大阪では大変盛り上がりつつありますが、全国的にはイマイチということだそうです。

〇〇会も現在、全国に散らばっていますが、大阪に実家のある方も無い方も、「花博」で待ち合わせ、というのは如何でしょうか。

期間は4月1日より9月30日まで、〇〇会と兼ねて大阪というのは一寸無理な様ですが、「年次会」の会場にぜひどうぞ!

## ★★★編集後記★★★

うちの期(〇期)に悪い奴がいた。ということほとんどの者が品行方正であった様に聞こえるので、トクに悪い奴がいた、というべきだろう。名前はというと、一寸言えないが、藤井という男である。彼は幹部当時、編集を担当していた。その彼が現役時代の機関紙の原稿を書け、と私に言った。根っからの真面目な私は、夜を徹して書き上げた。そして印刷が上がりに手許に配られた機関紙を見て仰天。なんと、私の記事は、彼の手により面白おかしく書き換えられていたのであった。他にも総務を担当していた鳥井という陰険な男や、事実を歪曲してしゃべり歩く細川、そして彼らの黒幕の竹本などの陰謀であった。

しかし、あれから約20年経ち私は今、当時の報復を可能とする立場にある。今回の中島るり女史に関しては、しつぱ返しがないので彼女の原稿通りに載せ、楽しみ(?)は来年以降に持ち越し事とした。

ともあれ、今年もいろんな記事が寄せられましたが、ご安心下さい。そのまま載せてます。ちなみに今回の記事の中で、一つ興味深いものがあつた。自分の女性関係を「ギター」に置き換えてそれとなく語る、本当はタカミネ〇〇子、或いは河野〇〇子なんてのがいたのかも……イヤ失礼失礼! こんな事書くからいかんのですネ、「メンナサイ、青木さん」

機関紙に関するご意見・ご要望は  
OB会機関紙編集委員会まで

第6期:上田新平 第9期:高本健児